



給食週間の取組にて

給食週間の取組もかねて、昼休みを使った全校遊びで「豆つかみトーナメント」を開催しました。全校児童生徒と職員も一緒になって、大豆をお箸で掴んでお椀に一つずつ並べていきます。1分間にいくつ並べられるかを競いますが、お椀を持つ手が震えて、なかなか大豆を並べられない職員がいて、笑いも起こって楽しみながら行いました。



↑決められた場所に並べるのが至難の業です！

決勝には中学生の狩野潤奈さんと小学生の小池碧さんが残りました。決勝は白熱して、周りの応援も大変盛り上がりましたが、結果は接戦の末、小池碧さんが優勝しました。お椀の持ち方、お箸の使い方が上手にできないと上手いかないこのゲームに、1回戦敗退した職員が多い中、見事に優勝した碧さんが、とても嬉しそうなのが印象的でした。最後に、児童生徒会の生活専門委員長の越山福太郎さんから賞状と副賞を受け取りました。



小学生が初挑戦！！

小学生の総合的な学習の時間で職業インタビューに挑戦しました。実際には事業所を訪問して、いろいろな職業の方にインタビューをする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問を控えることにしました。そこで、電話でインタビューすることにして、校長室、保健室の電話を使って、いざ実践！です。



慣れない言葉遣いや、インタビューの内容を書き取る作業など、めまぐるしい時間（約5分間）を過ごして終わったときには大きなため息をつけていました。担任の先生から、「これについてはどうなっているの？」と質問を受けて「あれ？聞き忘れてる！」ということもありましたが、貴重な体験になりました。お忙しい中、対応していただきました事業所の皆様、ありがとうございました。

音楽の時間に初体験

中学校1年生が音楽の時間に「箏」を初めて演奏しました。どれぐらいの力で弦をはじめて良いのかわからない様子で、おっかなびっくりです。音楽の山上先生から丁寧に指導していただき、はじき方の手本を見せていただきながら弾きます。「箏」は、初心者でもすぐに音が出せる楽器ですが、みんなであわせたり、大きな音を出すのが難しそうです。大きな会場での演奏は、音が小さくなりがちで、発表会には不向きかもしれませんが

体育館などでの発表会ができるよう、これからの頑張りに期待します。



給食感謝会を開催

日頃からお世話になっている、久賀島学校給食調理場のみなさんに、感謝の気持ちを伝えようと感謝会を開催しました。調理場のみなさんや、学校栄養職員の末留先生にご参加いただき、短い時間でしたが、子ども達が昼休みなどを利用して準備した、手づくりカレンダーや花束をプレゼントして、児童生徒のそれぞれの出し物で、もてなしました。小学生は、1人ずつ、作文を読みました。「苦手なものが食べられるようになりました」「毎朝の楽しみには、給食のメニューを見ることです」「自分の地元の料理やいろいろな郷土料理が食べられて、嬉しかったです」など、楽しい思い出と一緒に感謝の言葉を伝えました。本校では、しま留学生が多いため、各地の郷土料理が年に何度も登場します。そのたびに末留先生の解説付きで、郷土料理を食べていますが大変勉強になります。先日は、「久賀島トルコライス」をいただきました。トルコライスは長崎の郷土料理ですが、久賀島トルコライスは、地元の「拓水」さんから無償提供されたエビを使って、カレーピラフの上にエビフライがドンとのっています。地元の方々の愛に支えられた給食に感謝です。



中学生は、給食をテーマに俳句を作って発表しました。特に小学校1年生から今年まで9年間お世話になった大櫛優樹さんは「給食が頭に浮かぶ 今日なんだ？」と詠み、これまでの感謝の気持ちを、ぎゅっと閉じ込めて伝えることができました。これまで、久賀の給食が当たり前だった優樹さんには、良い思い出ばかりだと思いますので、今日は何だろうと楽しみにしている様子がよくわかります。来年度からは福江から給食を配送するため、久賀の調理場で作る給食が最後となります。35年間ありがとうございました。



↑事前に前撮りした俳句を画面で大きく紹介しました！！

豆まきをしました！

2月3日は節分でした。無病息災を願って小学生、中学生それぞれで豆まきを行いました。小学生は、校舎のベランダから、大きな声で「鬼は外、福は内！」と思い切り叫んで鬼をやっつけました。校舎裏の工事中の方々はさぞ驚いたことでしょう！中学生は、放課後の時間を使って、各教室で行いました。山口先生が鬼に扮し、子ども達が楽しそうに袋に入った豆を投げていました。給食では「恵方巻き」に見立てた「手巻き寿司」が出され、今年の方角、北北西を探しながら、おいしくいただきました。

